

アユの一生

秋に川で卵からかえったアユは、川の流れによって海まで行き、そこで冬をすごします。春になると川をさかのぼり、川底の石についた藻類や水生昆虫などを食べて成長します。秋には産卵場所に向けて川を下り、流れの早い砂レキ底の平瀬から早瀬にかけて卵を生み、一生を1年間で終えます。



⑧ 絶滅しそうな魚たち

魚たちが絶滅してしまう？

静岡県では、絶滅のおそれのある生物について「レッドデータブック」という本をまとめています。天竜川でもレッドデータブックで絶滅のおそれがあるとされる魚が確認されています。



静岡県版レッドデータブック(西部地域)による絶滅のおそれのある魚

カテゴリー	定義	天竜川にすむ魚
絶滅危惧I類 (IA類・IB類)	絶滅の危機にひんしている種	カワバタモロコ、スナヤツメ、シマドジョウ、アカザ
絶滅危惧II類	絶滅の危険性が増大している種	ウツセミカジカ
準絶滅危惧	現時点では、絶滅の危険性は小さいが、生息条件の変化によっては、絶滅危惧になる可能性がある種	メダカ、カマキリ

魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

メダカ 全長：約4cm

ダツ目メダカ科

■解説
背が直線的で、背びれが体の後方につきます。飼育種のみメダカに似ていますが、メダカは背のほうから見ると黒っぽい色です。
平地の水田や用水路、小川に生息しており、流れのゆるやかな場所の水草などに卵を産みます。通常、春から初夏にかけて産卵し、ふ化した稚魚は夏～秋にかけて成長し、次の年に産卵します。

■現地調査での確認範囲

下流域	中流域	上流域
-----	-----	-----

■主な生息環境

河川域		
ワンド	淵	瀬

■生活型

純淡水魚

■ : 主な確認範囲